暴力では
何も解決
できない。

教科研プレ学習会

7/19(土) １３時３０分～１７時

※現地とオンラインによるハイブリット開催

場所 法政大学中学高等学校、社会科教室（２F）

＊最寄りは吉祥寺、井の頭公園

戦後８０年・今、若者と社会や政治、平和を語るには
―表現や対話の困難を探る―

今年は戦後８０年を迎える年です。ウクライナ、ロシアに始まり、イスラエル、ガザ。そしてイランにまで広がっています。世界のいたるところでこうした問題が勃発しており、日本に目を向けても、排外主義的風潮が広がり、学術会議の法人化、選挙や政治の在り方が問われるような「民主主義の危機」、「新たな戦前」とも呼ばれるような事態が目下進行中です。

新自由主義による、同調圧や競争的空気や「責任文化」によって主体が立ち上がったり、対話をしたり、思いや願いを表現し、発露する場が危機に瀕しているように思います。そんな中、今、若者と社会や政治、平和を語る上で考えねばならないことを参加者と共に探っていきたいと思います。前半の部「現場からの語り」では張りきった実践を報告するのではなく、日ごろ感じているモヤモヤや課題、困難、難しさ、あるいは「こんなことを取り組んでみたらうまくいった」というものをリレー的に話題提供していきます。後半の部ではでは、前半のリレートークを生かしながら、佐貫浩（法政大学名誉教授）さんに「今日における『表現』と主体の立ち上がりの困難を探る」と題してご講演いただきます。そして講演と議論終了後、イベントの感想や日頃の難しさやモヤモヤについて語り合うカフェタイムを設けたいと思います。

前半

現場からの語り
石川秀和　（法政大学中学高等学校社会科）
池田匠吾　（法政大学中学高等学校社会科）
櫻江みのり（法政大学中学高等学校国語科）
寺尾昂浩　（公立高校・法政大学中学高等学校社会科、大学非常勤）

後半

佐貫浩（法政大学名誉教授）
「今日における『表現』と主体の立ち上がりの困難を探る」

申し込みはこちらから

オンライン情報は、メールにて連絡します。

r205001y@st.u-gakugei.ac.jp

学生たちが気軽に参加できるように
カフェのカンパもよろしくお願いします。寺尾